



学校法人 香川栄養学園



GO!! GLOBAL 2025



世界にふれて“自分”を再認識してみましよう



国際交流センター長
大学院研究科長 田中茂穂

大学生の間は、自分にとっての社会が一気に広がる時期であるとともに、仕事に就いた後と違って、比較的自由がある時期でもあります。だからこそ、世界にふれてみましょう。

今やbentoやOnigiri、tofu、misoは英語として通用するようになってきました。このように、和食は急速に海外で受け入れられています。また、日本の食品会社も、東南アジアや欧米で海外進出を果たしています。そのことからしても、「海外で働きたい」「国際的な仕事をしたい」という希望は非現実的ではなくなってきました。しかし、そこまで考えていない人にとっても、国際感覚は重要です。

もしかすると、「国際化なんて、自分には関係ない」と考える人が多いかもしれませんが、「国際化」と言っても、「国外で働く」とか「常に英語で会話する仕事に就く」などといったことだけではありません。まずは、世界を身近に感じたり、他国の様々な考え方を実感したりすることが重要です。

TVやインターネットなどで「日本(人)の素晴らしさ」を目(耳)にしたこともあることと思います。しかし、日本の中にいる限り、それは「当たり前」のことで、実感がわきません。海外に出ると、価値観や生活習慣、生活環境、時間の感覚などが全く異なることに気づきます。その結果、「やはり日本が一番」となるとしても、その本当の価値をより深く理解することができます。このような「気づき」は、国際的な仕事に就くかどうかにかかわらず重要なことです。

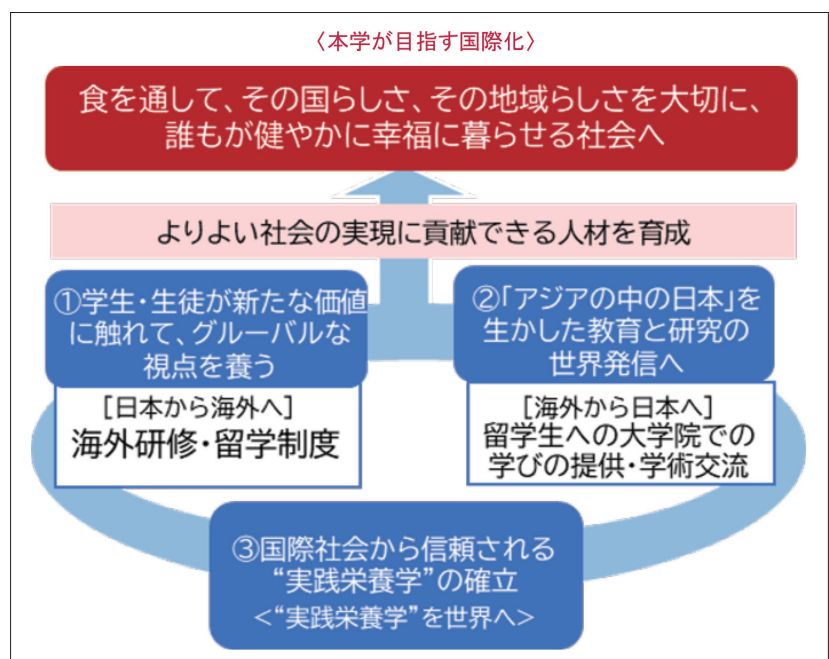
夏目漱石は、約2年間のロンドン留学を悶々と過ごしましたが、それがあったからこそ、「自分とは何か?」「日本の文学とは何か?」を自問自答し、その後の創作活動につながっていきました。自分も、大学を卒業するまでは国際交流にほとんど興味はありませんでした。しかし、24歳の時、金管アンサンブルの演奏旅行でヨーロッパに行ったのをきっかけに、海外に出かけたり他国の研究者とつながったりする機会が、少しずつ、しかし着実に増えてきました。何より、多様な考え方を理解し受け入れることができるようになってきました。

まずは、日本を出て、多様な文化を実感しましょう。その経験は、どのような仕事・生活になるとしても、必ずや大きな糧となるはずで、国際交流センターは、そのきっかけづくりを支援します。

国際交流の理念 ～実践栄養学を世界へ～

本学ではいつの時代にあっても、日々の暮らしの中で栄養学と向き合うことで、科学に裏打ちされ、人々が実践しやすい食事法の考案、普及に取り組んできました。それが本学の学びのコアにある“実践栄養学”です。

世界トップクラスの健康水準を誇る日本。戦中・戦後の栄養改善の歩みとともに発展してきた“実践栄養学”を日本から広く世界に示すこと、これまで本学が長年担ってきた実践栄養学をベースにした「人材育成」の役割を世界に広げ、世界の食と健康に向き合う人材を育成していくことが、本学の目指していく国際化です。



国際交流プログラムカレンダー

海外研修や国際交流関係のイベントの一覧です。
自分の関心がある研修やイベントの日程を事前に把握し、積極的に情報収集しましょう。

2025年度 国際交流カレンダー Calendar

<p>4 April</p> <ul style="list-style-type: none"> カーティン大学公衆衛生学部賞授与 留学生交流会(ピクニック) 各種学部・学科主催海外研修履修登録 	<p>8 August</p> <ul style="list-style-type: none"> ソウル国立大学交換留学生学内応募締切(春入学) 	<p>1 January</p> <ul style="list-style-type: none"> ソウル国立大学交換留学生募集開始(秋入学) 荒井慶子グローバル人材育成奨学金学生決定
<p>5 May</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回カフェ・グローバル オーストラリア栄養学研修募集説明会(短大) Clip(UKMサマープログラム)応募締め切り 	<p>9 September</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回カフェ・グローバル 	<p>2 February</p> <ul style="list-style-type: none"> ソウル国立大学交換留学生学内実施応募締切(秋入学) 国際食活動フィールドワーク実習実施(栄養学部/食文化)
<p>6 June</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流報告会 	<p>10 October</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ研修募集説明会(大学・短大・専門学校) 海外スポーツ栄養体験実習実施(栄養学部/科学専攻) 	<p>3 March</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ研修実施 オーストラリア栄養学研修実施 留学生交流会(お別れ会) 新留学生川越ツアー
<p>7 July</p> <ul style="list-style-type: none"> ソウル国立大学交換留学生募集開始(春入学) 	<p>11 November</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒井慶子グローバル人材育成奨学金募集開始 	
	<p>12 December</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒井慶子グローバル人材育成奨学金学生選考 第3回カフェ・グローバル/留学生交流会(クリスマス会) 	

*上記のスケジュールは都合により変更になる場合があります。
*本年度の海外研修は新型コロナウイルス感染状況により、中止になる場合があります。
*カフェ・グローバルについてはP10をご参照下さい。

提携校の紹介

アイルランド



- ① ダブリンシティ大学
Dublin City University

韓国



- ② ソウル国立大学校生活科学大学
Seoul National University

ベトナム



- ③ ハノイ医科大学
Hanoi Medical University

タイ



- ④ マヒドン大学
Mahidol University

マレーシア



- ⑤ ケバンサアン マレーシア大学(UKM)
Universiti Kebangsaan Malaysia

オーストラリア



- ⑥ クイーンズランド工科大学
Queensland University of Technology
- ⑦ カーティン大学
Curtin University

台湾



- ⑧ 台北医学大学
Taipei Medical University



研修プログラムの紹介

研修プログラム一覧

研修名	オーストラリア 栄養学研修	ヨーロッパ 料理研修・洋菓子研修	国際食活動 フィールドワーク実習	海外スポーツ 栄養体験実習
渡航先	オーストラリア (パース)	フランス	ベトナム (ホーチミン)	オーストラリア (ブリスベン)
研修先/ 留学先	カーティン大学	現地料理・製菓専門学校	現地企業・現地大学など	クイーンズランド工科大学
研修期間	1週間程度	1週間程度	1週間程度	10日間
費用の目安	50万円程度	65万円程度	30万円程度	50万円程度
語学力	英語が できれば尚良し	条件なし		
主な対象	栄養学部及び 短期大学の1・2年生	栄養学部 短期大学部 専門学校	食文化栄養学科 3年生(授業)	保健栄養学科 栄養科学専攻等 3年生(授業)
主催	栄養学部	国際交流センター	食文化栄養学科	栄養科学専攻

*新型コロナウイルス感染拡大によっては研修が中止になる場合があります。詳しくは国際交流課にお問い合わせ下さい。

*為替レート等により金額が異なる場合があります。上記費用の目安は過去実施例になります。

*ヨーロッパ料理研修・洋菓子研修はどちらかの実施となります。

国際交流センター主催の研修プログラムについて

ヨーロッパ洋菓子研修

*料理研修と洋菓子研修は毎年交互に開催します。募集開始のアナウンスについては国際交流のインスタグラムでお知らせします。

人 15名以上 **期** 2026年3月9日～3月15日 **言** フランス語ができれば尚良し **募** 2025年10月 **費** 約65万円 **単** 2単位

滞 ホテル

概 料理研修と洋菓子研修を交互に毎年開催します。フランスのパリを中心に、マーケットの食材見学、パン菓子工房等店舗の見学をおこない、また現地専門学校で本場のフランス料理・洋菓子の実習も行います。フランス料理・文化を体験する1週間です。

スケジュール *以下はあくまでも一例です。実際の飛行機、旅程は変更になることがあります。

2026年 3月9日(月)	空港発	空路(直行便) パリへ (所要時間14.5時間/日本との時差-8時間) 現地到着後、ホテルへ移動
研修前半	パリ	アルザスまたはリオンへ 製菓・製パン実習、自由行動で市内の製菓・製パン店巡り パリに戻りジャム作り(オプションツアー)、ショコラ視察
研修後半		パリにて製菓・製パン店の視察、マルシェ訪問 自由行動にて菓子道具店訪問、市内観光等
3月14日(土)		自由行動 夕刻: ホテルより集合後、空港へ 空路 帰国へ
3月15日(日)	空港着	着後、解散

*2単位の付与については、研修に参加した「翌年度」、4月に大学生については、「共通特論XI」を履修登録、短期大学生については「食物栄養学特論I」を履修登録すると、試験や授業への参加なく、次年度に2単位が付与されます。(大学4年生、短期大学部2年生が研修に参加する場合には、単位は付与されませんので、ご注意ください)専門学校生については、授業時間数にカウントされますので、詳しくは専門学校教務課にお問い合わせください。

*単位の付与には、現地専門学校等で発行される「証明書」を教務課に提出する必要があります。



研修参加者の声 ▶ 海外スポーツ栄養体験実習

保健栄養学科 4年 新井光咲

留学先 | オーストラリア・ブリスベン・クィーンズランド工科大学
渡航期間 | 2024年10月3日～12日



現地で実施した活動の中で最も印象に残った事・楽しかったことは何ですか？

eスポーツについての講義です。講義を受ける前のeスポーツの印象は、コンピューターの前に座ってオンラインゲームを行なっているだけだと思っていました。しかし、実際は大きなモニターの前にエアロバイクがあり、それを漕いで世界中でタイムを競う競技などもありました。一方、eスポーツは画面を見ながら行う競技であるため、目を酷使しやすく、選手生命が短いものだと知りました。そのため、それを防ぐために栄養的なサポートが必要だと感じました。また、今まで現役選手の栄養サポートについてしか考えたことがなかったのですが、この講義を受けて引退後のサポートも大切であると考えました。

自由行動では何をしましたか？

街中で買い物をする機会が何度かありました。スーパーに行ってお菓子を買ったり、日本にあるお店との味を比べたりして、現地の食を体験しました。また、ブリスベンは大きな川があって、船に乗って街中を回りました。大きなビルを船からゆっくり見た景色はとても思い出深いものでした。

留学の意義及び海外研修を通じて得たもの・自分の変化等

現地の大学の講義やスーパーマーケットで買い物をして自炊をした経験から、日本と海外の違いがわかり、お互いの良いところを知ることができました。改めて世界は広いと実感しました。

また、今回の実習には普段関わることのない学科の違う3年生と4年生が参加し、同部屋になったり一緒に調理したりと他学年と関わる機会が多く、学年に関係なくコミュニケーションを取って交友関係を深めることができました。

日本に帰ってきてからも仲良くしていただいで、新しい輪が広がりました。

今後、留学を考えている後輩へのメッセージやアドバイス

迷ったらとりあえず行くべきです！自分から行動すれば、きっと良い方向に進むと思います。私は、今回の海外スポーツ栄養体験実習で、自分が今後さらに学びを深めたいことが見つけられました。応援しています！



学科主催の研修(授業)プログラム

国際食活動フィールドワーク実習

- 対 食文化栄養学科 費 約30万円
- 単 2単位 申 学科ガイダンス内で説明有り 期 1週間程度
- 概 ベトナムの食文化や生活をフィールドワークを通じて体験します。



海外スポーツ栄養体験実習

- 対 保健栄養学科栄養科学専攻 費 約50万円
- 単 2単位 申 春に履修登録が必要 期 10日間程度
- 概 英語力を向上させつつ、世界最先端のスポーツ栄養を体験するために、スポーツ先進国であるオーストラリアに学びます。





留学制度

本学の場合、食文化栄養学科以外は留学できるタイミングが非常に限られています。3年生になると郊外実習などが入り、留学が困難になる場合が多いです。特に3週間以上の留学を希望する学生は1年生の早い段階から考え、準備してください。

留学を希望している場合には、まずは国際交流課(Knuintlo@eiyo.ac.jp)に連絡をし、早い段階で最初の相談をするようにしてください。メールを頂いたら後、Teamsのチャットでご連絡をさせていただきます。

以下の通りそれぞれの留学の特徴をまとめました。自分のニーズ、資金計画に適した留学方法を選択するようにしてください。

留学制度早見表

留学制度名	渡航先	期間	メリット・デメリット
私費留学	各自自由。原則、自分で渡航する語学学校を探します。	自分で自由に設定します。多くの場合、2週間～1ヵ月程度	メリット 自分で渡航先・期間を選べる。 デメリット 留学エージェントを通すため、費用が高くなる。エージェントには当たりはずれがある。
交換留学	韓国 マレーシア	半年～1年	メリット 渡航先の教育費は無料。費用が抑えられる。大学同士の協定があるため、安心。 デメリット 渡航先を選べない。期間が長く、修学に影響が出る場合も。
協定留学/ 認定留学	アイルランド 本学提携校	短期・長期どちらもあり	メリット 大学同士の協定があるため、安心。 デメリット 教育費がかかるため、費用はそこまで抑えられない。

*マレーシアの協定留学は2025年後半より開始予定です。

私費留学

エージェントを使用するため、費用が高くなる傾向はありますが、渡航先を選べば安価で留学が可能です。フィリピン、マレーシアなどは4週間30万円台からの留学金が可能で、荒井慶子グローバル人材育成奨学金(P10を参照)を使用すれば20万円弱の費用負担で留学することが可能です。過去に先輩が使用したエージェント、国際交流課と繋がりのあるエージェントを紹介することも可能です。

交換留学

ソウル国立大学校生活科学大学(食物・栄養学科)への交換留学プログラム

対 大学院生、栄養学部生*¹ **期** 半年～1年間 **費** 学費免除(詳細はプログラムの魅力を参照)

語 TOEFL iBT 88以上、IELTS6.0以上、又はTOPIK(韓国語能力試験) 5以上が目安*²

*1: 少なくとも半年間は女子栄養大学で修学していることが前提となります。 *2: 語学レベル、GPAの目安は変更になることがあります。詳しくは国際交流課にお問い合わせ下さい。

GPA 学部生 2.5 大学院生 3.0

ソウル国立大学校生活科学大学とは?

韓国の最高学府、ソウル大学の中にある学部の1つです。留学先はソウル大学の生活科学大学になります。生活科学大学の中に食物・栄養学科があり、そちらの交換留学プログラムコースに入ることになります。(大学院は自然科学専攻の中に食物・栄養プログラムがあり、そちらに入学します) 大学院の場合は公衆衛生の英語授業を履修することもできます。

プログラムの魅力

プログラムの一番の魅力はソウル大学での学費が免除されることです。大学には安価な寮もありますので、寮と生活費のみで修学が可能です。また、食物・栄養学科は英語で学ぶコース(English-Taught Courses)もありますので、特に英語が得意な学生や留学生には魅力的なコースとなっています。ソウル大学で受講した講義は単位互換で女子栄養大学の単位に変換することが可能です。

スケジュール

春入学	7月上旬：学内募集開始
	8月上旬：学内応募締切・選考
	9月上旬：ソウル大学にオンライン申請
	10月：ソウル大学にて選考
	11月：結果発表
	12月：入学許可手続き実施

秋入学	1月上旬：学内募集開始
	2月上旬：学内応募締切・選考
	2月中旬：ソウル大学にオンライン申請
	4月：ソウル大学にて選考
	5月：結果発表
	6月：入学許可手続き実施

*単位互換の科目については、あらかじめ指導教員に確認して下さい。

協定留学/認定留学

本学の提携校への留学やまた食文化栄養学科が実施する中期語学研修制度が主になります。中期語学研修制度は単位認定を受けることが可能です。

食文化中期語学研修制度

- 対** 食文化栄養学科に在籍する3年生等 **期** 3年生前期
- 費** 本学の学費と留学先の学費の双方の負担が必要
*学園の奨学金の申込が可能です。詳しくはP10をご参照下さい
- 学** 提携先のダブリンシティ大学付属の日本語学校等で学びます

*食文化中期語学研修は食文化へ、Clipプログラムは国際交流課にお問合せ下さい。

Clip UKMサマープログラム

英語力強化を主とした3週間の体験型のプログラムです。

- 対** 学部生、大学院生 **期** 8月中～末
- 費** 1800ドル+航空券代等
- 学** ケバンサアンマレーシア大学キャンパス

ソウル大学交換留学日記

栄養学部 実践栄養学科 孫 妃那
留学期間 2023年9月～2024年8月

【自己紹介】9月からソウル大学での学生生活をスタートしました。ソウル大学では基礎栄養学や食生活文化及び実習、給食経営論を通じて韓国の食産業や食文化などを学んでいます。試験期間になると覚えることがとても多いので学科の友達と一緒に夜まで大学に残って勉強をしています。今日はそんな私のある1日を紹介します。

10:00
ソウル大学行きのシャトルバスが二か所から出ており、私は大学洞から大学の真ん中にある行政館に到着するバスに乗ります。その後10分くらい授業のある建物まで歩いていきます。大学が韓国内で一位の広さを誇るほどの土地を持っているので建物が違う授業があると移動が大変です。



10:30
今日は基礎栄養学の授業に参加します。授業で先生が使うスライドはすべて英語で書いてあり、予習しながら翻訳することが必須です。もちろん試験も全て英語です。多くの授業は韓国語ですが、一部の授業に関しては学部生でも英語なので、留学するなら英語を勉強していくのが良いです。

12:00
ソウル大学内にはいくつかの食堂があり、授業する建物の近くで食べることが多いです。今日は中央図書館の近くにある学生会館食堂でカボチャカレーを食べます。このメ



14:00
午後は食生活文化及び実習の授業を受けます。この授業では食文化に関するコンテストへの参加や、食に関するフェスタ等への参加を通じて実践形式で学ぶ授業です。また、外国人クッキングクラスと言って韓国の料理を留学生に教えるという授業もあります。実践形式なので韓国の食文化はもちろん外食産業などにも触れられ、日本との違いを感じます。



18:00
ソウル大学内にある学科専用の部屋で友達とおしゃべりしながら夕方を過ごし、帰りは大学から出ているシャトルバスに乗って帰ります。

19:00
家に帰って自習をします。韓国語での授業なのでわからない単語を調べ、理解ができなかった部分を録音した授業を聞き直しながら復習します。自習が終わったあと洗濯や掃除などの家事をしていきます。



外国人留学生の声

食品生産学研究室 修士課程1年
シリラック スックセナー



Country タイ
City ナコーンシー タマラート県

1. 自分の国について紹介してください

私はナコーン シー タマラート県と呼ばれるタイ南部の出身です。私の故郷は海と山の両方に囲まれていて、それが理由でタイでは最も空気が綺麗な場所として知られています。

感動的な景色に加えて、大胆で濃厚な味わいと言われる多彩な食べ物も自慢です。南タイの食べ物は多くの人々が想像する以上に辛いです。試してみる価値は絶対あります。しかし、私にとっては南タイを象徴するものは食べ物や景色ではなく、人々です。南部出身でない人にとっては、南部の人はタフで威圧的だと思うかもしれませんが、実は南タイの人たちはとても親切で正直でそして尊敬に値する人が多いです。

2. 留学を決めた理由

A. なぜ日本に留学しようと思ったのですか？

留学することは、子供のころからの自分の「やりたい事リスト」の中にありました。高校最終学年の時、大学選びという重要な意思決定に直面しました。実は面白いことに、勉強と日本に住むという2つの事は、私の指導教員が日本の修士課程に留学する奨学金のチャンスについて教えてくれるまで、一度もひとつくりに考えたことはありませんでした。

日本について入念に調べる中で、教育の機会だけでなく、日本文化の素晴らしさについても発見しました。その時、もし幸運にも奨学金を得て日本に留学することができたとしたら、

私の目標は学業成績だけにとどまらないことに気づきました。私は日本の文化に浸り、人々と繋がり、日本独特の生活様式を経験してみたくなったのです。



B. なぜ女子栄養大学を選んだのですか？

女子栄養大学を選んだのは、栄養学、食の健康という自分が学部生の時に夢中になった分野において日本で最も有名な大学のひとつであったからです。女子栄養大学は自分の関心分野への追及を続け、且つその分野において自分の知識を深めるのに最適な場所だと思いました。自分の中で最もチャレンジングだと感じたのは、日本語でコミュニケーションを取らなければならない点です。ゼロから新しい言語を学ぶことは自分にとって最も困難な事の一つでありました。日本語を学ぶことの長期的な利点は、すべての努力に値すると信じています。このチャレンジは私の決意の表れでもあります。

3. 大学ではどんな研究をする予定ですか？

日本に来る前は、キノコにとっても関心があり、健康と免疫力を向上させるための生物活性化合物の単離について研究することを考えていました。この分野への関心は、世界最大の健康分野におけるチャレンジである生活習慣病に起因します。しかしながら、来日後、研究室に所属し様々な論文、特に大学院の先輩たちが研究している海洋生物に関する論文を読むにつれ、海洋生物を自分の研究にも取り込むという自分の興味関心を少し広げる視点を持つことができました。将来的には、生活習慣病と戦うために海洋生物の持つ利点を活用していくことを考えています。

4. 修士課程卒業後の計画について教えてください

卒業後はタイに戻り、自分の研究分野に関連した仕事を探し、社会に意味のある貢献をしていきたいと考えています。「意味のある」とは、自分自身の知識や経験を使い、できるだけ多くの人に貢献していくという意味です。修士課程在籍中だけでなく卒業後も、学び、自分ができる限りの経験をしていきたいです。いつか、もし機会があるのであれば、家族と充実した時間を持ちながらも、自分自身でビジネスを立ち上げてみたいと思っています。結局のところ、私の最大の夢は、家族がいつも私に与えてくれた愛情とサポートに報いるために、今度は自分自身が家族を支えていくことだと思っています。

5. これから留学を考えている後輩に一言

留学を夢見ていながらも、不安で足踏みしている後輩に送る言葉は「完璧な状態である必要はない、最適な時を待つ必要もない。なぜなら、そんなものは存在しないのだから。」という言葉です。

私が子供の時、私にはやりたい事がたくさんありましたが、いつも「恐れ」からそれを躊躇してしまっていました。当時の私が一番恐れていたのは、「失敗したらどうしよう」ということでした。今私は、子供の頃の自分にも、そして今、恐れと闘っている人たちにも、「失敗は旅の一部に過ぎないのだ」と伝えたいです。





外国人留学生の声

食生態研究室 修士課程 1年

ジミナ ダリア



Country ロシア
City ヴォルゴグラード州

1. 自分の国について紹介してください

私はロシアのヴォルシスキー市の出身です。ヴォルシスキーは190の少数民族が住んでおり、それが鮮やかな文化のタペストリーを紡ぎ出しています。ロシアは歴史が深く、また多様性に富んだ文化、素晴らしい風景で知られています。モスクワやサンクトペテルブルクの象徴的な建築物から、シベリアやウラル山脈の息をのむような美しい自然まで、ロシアには伝統と現代性が融合した独特の魅力があります。

ヴォルシスキーは世界で一番長い川と言われるヴォルガ川のほとりにあります。州都でもあり第2次世界大戦で歴史的な重要性の高いヴォルゴグラードへのアクセスも良いです。市の見どころは何といてもヴォルガ川に隣接しているため、ボートや魚釣り、川岸でのピクニックなどアウトドアの活動が豊富なところですよ。

2. 留学を決めた理由

A. なぜ日本に留学しようと思ったのですか？

日本への留学を決意したのは、私の教育的・文化的願望に合致するいくつかの要因が重なったからです。過去に中国に留学したため、その際アジアの文化や言語に深い感謝の念を持ち、それらを更に探求したいという私の欲求に火をつけました。中国にいる間、日本語を勉強し始め、その構造や深い歴史、それに伴う独特の文化的ニュアンスに魅力を感じました。

そういった中で、日本を次の留学先として選ぶのは私にとってはごく自然な流れでした。日本は進んだ技術だけでなく、革新的な教育システムでも知られています。そしてそれだけでなく伝統芸術や料理、私の故郷とも中国とも全く異なるフィロソフィーという豊かな文化的遺産も誇っています。この活気に満ちた文化に身を置き、その独特の活気あふれる文化を直接体験する機会を得たいという想いが日本留学の動機になりました。

B. なぜ女子栄養大学を選んだのですか？

つい数年前に食生態学に関心を持ち始めるようになりました。そして、私が将来の研究のために女子栄養大学を選んだ理由は、卓越した学問と栄養学に焦点を当てたユニークな融合を大学が提供しており、私のキャリアにぴったり合致していると考えたからです。女子栄養大学は栄養学において理論的な知識と実践技術という双方の点で知られています。さらに、経験豊富な教授陣と関わり、多様な背景を持つ仲間との協力は、ダイナミックな教育的雰囲気を作り出しています。この

環境は国際的な視点から栄養学への理解を深めるだけでなく、食生活への革新的なアプローチを探求することにも繋がります。

3. 大学ではどんな研究をする予定ですか？

今、私が関心があるのはフードロスをなくすための環境的に持続可能な食生活の探求です。

環境的に持続可能な食習慣に加え、多くの国において環境と健康に関連する政策を作ろうという動きのある持続的な食生産と消費も関心テーマです。現在の取り組みや、意識的な消費を最適化するために、いかに積極的な措置が取られているかを考慮し、私は食品ロスや廃棄を減らすために、環境的に持続可能な日本の経験を取り入れながら、研究を行いたいと思っています。

4. 修士課程卒業後の計画について教えてください

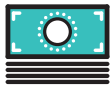
現在のところ、まだこの春から修士課程を開始するところで卒業後の進路を確定するのは難しいです。しかしながら、食生態学を修めた後、博士後期課程に進む、日本企業に就職する、国際組織で働くという3つの方向性を描いてはいます。



5. これから留学を考えている後輩に一言

留学という心躍るような可能性を考える時には、心を開くこと、そして強い意志を持って臨むことが大切です。留学は、単に学術的な追及ではありません。新しい文化に身を置き、多彩な視点をえて、自分自身の技術を磨く機会でもあるのです。そういった経験は、ますますグローバル化する世界で、あなたを際立たせることなのでしょう。異なる教育システムや国際的な仲間との交流や新しい環境での生活に伴う困難を乗り越えることに適応させる準備をして下さい。ホームシックや言葉の壁などの辛い出来事を経験した時には、そういったチャレンジは自分自身の成長と強靭性を高めることに繋がるということを、いつも忘れないでください。





海外留学のための奨学金制度

留学するためには資金的な準備も必要になります。国際交流課では、留学のための給付型の奨学金情報の提供も行っていきます。応募可能な奨学金は、6号館1階国際交流課前の掲示板及び4号館3階の掲示板に張り出されます。

給付型奨学金の一例

奨学金名	申請レベル/対象国	給付内容
ロータリー財団グローバル補助金	大学院（修士/博士）	\$15,800～\$30,000
日本学生支援機構海外留学支援制度	大学/大学院（修士）	授業料250万円及び生活費
一般財団法人重田教育財団	大学/大学院（修士）	月額20万円
埼玉発世界行き奨学金	大学/大学院（修士）	100万円
埼玉県姉妹友好州省奨学生派遣事業	米国、中国、オーストラリア等	授業料免除（場合により住居費免除）

荒井慶子グローバル人材育成奨学金

本学の卒業生であり教壇にもお立ちくださった荒井慶子先生からのご寄付で設立された給付奨学金制度です。将来グローバルに活躍することを目標に海外留学を希望する学生・生徒の中から選考の上、給付します。詳しくは毎年9月に国際交流インスタグラムでお知らせしますので、そちらをご確認下さい。

対象	大学院生、大学生、短期大学部生、専門学校生		
種別	給付	金額	15万～80万円/各
人数	5名以内	申込時期	11月

*上記の内容はガイドラインの改定により変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。
*金額は渡航期間により異なります。詳細は国際交流課にお問い合わせ下さい。



その他のお知らせ

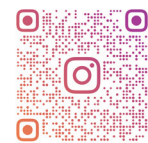
カフェ・グローバル(留学生おしゃべり会)

国際交流センターでは、オンラインで留学生と気軽にお話するカフェ・グローバルを定期的に開催しています。英語でおしゃべりしたい方、海外のことが知りたい方はぜひ気軽にご参加下さい。右のQRコードより参加登録をすることができます。英語が話せない学生も大歓迎なのでぜひ登録下さい!



国際交流インスタグラム/Instagram

学園・国際交流に関するニュースを簡単な英語でタイムリーに発信しています。海外研修の最新の情報、国際交流関係の学内イベントは、まず最初にこちらのインスタグラムで情報発信します。国際交流に関心のある学生は右のQRコードを読み込み、フォローをお願いします。



KNU1933

国際交流チャット相談

本学でのタブレットやオンライン授業等の導入によるITCの推進の一環として、国際交流課では学生・生徒へのオンラインチャット相談を開始しました。Microsoft Teamsのチャットで気軽に留学や海外渡航届等の相談を頂くことが可能です。チャット相談をご希望の学生は初回のみ国際交流課(Knuintlo@eiyo.ac.jp)までメールをして下さい。こちらからチャットで返答いたします。



留学・海外渡航における安全管理

全ての学生・生徒対象



海外渡航に必要な3STEP

本学の学生である限り、海外渡航する際には必ず以下の3ステップを実施する必要があります。これは留学に限らず、観光で海外を訪れる際にも必要な手続きになりますので、し忘れることのないよう、お願いします。

STEP 1

STEP 2

STEP 3

海外渡航届の提出



上記のQRコードにアクセスして、海外に行く前には必ず必要事項を記入するようにお願いします。

こちらの届出は学生の安全管理を目的に実施しているものになります。海外で何らかの危機に巻き込まれた場合、救済のために個人情報等を現地大使館などに共有する場合がありますので、予めご了承ください。

情報ネットワーク課への届出



現在、Microsoft 製品 (Outlook や Teams 含む) 等、本学の各サービスに関しましては、海外からのアクセスを制限しています。

観光等で海外からeiyoアドレスの利用をご希望の場合は、eiyoアカウント毎に一時的に解除しますので、以下の申請フォームより渡航前に必ず申請をお願いします。尚、こちらの「届出」ですが、海外に渡航する毎に必要なになりますので、ご注意ください。

「たびレジ」への登録



海外旅行を予定している場合は、緊急時の備えとして外務省が実施している「たびレジ」(渡航登録サービス) への登録が必須となっています。渡航前に、必ずたびレジへの登録をお願いします。



海外旅行保険への加入

本学園内の全ての学生・生徒には海外に渡航する場合には海外旅行保険に加入することを奨励しています。強制ではありませんが、空港でも加入することが可能ですので、加入を検討して下さい。

海外研修に参加の学生



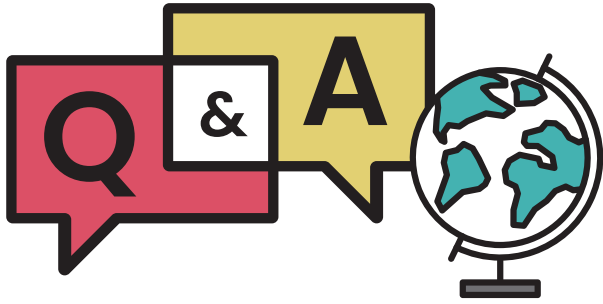
参加誓約書・医療の委任状の提出

全ての学生に参加誓約書・医療の委任状の提出をお願いしています。海外研修参加の際に国際交流課や各学科からアナウンスがあります。



予防接種の実施

こちらは任意になりますが、渡航先が東南アジアや開発途上国の場合、狂犬病や肝炎が心配される場合もあります。義務ではありませんが、個人の判断で心配な場合は事前に接種をするよう、お願いします。詳細は保健センターまでお問合せ下さい。



Q 留学すると留年してしまいますか？

A 認定留学や研修プログラムでは本学に在籍したままの渡航となりますので、卒業時期が延びる事はありません。一方、休学をして留学する場合は卒業が延期します。留学を考えている場合は早いうちに教員、教務課に相談するようにして下さい。

Q 語学力はどう伸ばせば良いですか？

A 語学力を伸ばす前に、自分の現在の語学レベルを知ることが必要です。語学力にあまり自信のない人は英検やTOEICで自分の現在の語学レベルをチェックしてみましょう。その上で自分の苦手部分(語彙力、読解力、リスニング力、文法、作文力)を特定し、ワンランク上を目指すように勉強していくと良いでしょう。

Q 留学や海外研修に参加した場合、単位認定されますか？

A 認定留学や短期の研修プログラムでは留学や研修修了後2単位の単位認定を受けることが可能なものもあります。単位認定されるには事前研修の参加やレポートの提出など様々な条件があり、それを全て満たす必要があります。自分が参加するプログラムの単位認定にどのような条件があるのか、事前に教務課に確認をするようにして下さい。

Q 留学や海外研修にはどのくらい費用がかかりますか？

A 海外研修のおおよその料金はP4に掲載しています。為替レートや参加人数によっても費用は異なってきますので、毎年開催される募集説明会に参加して料金を確認するようにして下さい。留学は私費留学であれば1年間で100万～150万円以上かかる場合もあります(留学する国により大きく異なります)。国や自治体、民間の留学を支援する様々な奨学金制度がありますので、有効に活用するようにしましょう。

Q 韓国語がしゃべれませんが、交換留学制度に応募できますか？

A 協定校であるソウル国立大学校生活科大学の交換留学制度では、留学生用のプログラムで全ての授業を英語で行い単位を取得することが可能になっています。ただし、英語の場合はTOEFL iBT88以上、IELTS 6.0以上の語学力が必要になります。韓国語で学習する場合もTOPIKレベル5以上が必要になりますので、希望する学生は事前に必ず語学試験を受けるよう、お願いします。(詳しくはP7をご確認下さい)

語学試験

以下が主な英語試験の概要です。試験日程などWebで調べてみましょう。

	内容	検定料
英語検定	筆記、面接により構成。級によっても異なるが、筆記は語彙力、読解、リスニング、作文力を問われる。	7,900円～9,800円程度 (級により異なる)
TOEIC	読む、聞くが中心のテストと話す、書くが中心のテストの2つに分かれる。	7,810円
TOEFL iBT	読む、聞く、話す、書くを総合的に判定、全体で4.5時間の試験内容。インターネット版の試験も有り。	\$245
IELTS	聞く、読む、書く、話すの4つのテストで構成されており、試験時間は2時間45分。	25,380円

*\$は米ドル。検定料は変更になる場合があります。

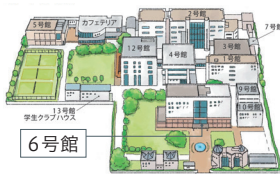


学校法人 香川栄養学園

国際交流課 International Office

坂戸キャンパス

住所：〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21
 電話番号：049-284-6245
 場所：6号館1階
 メールアドレス：kuintlo@eiyo.ac.jp



駒込キャンパス

住所：〒170-8481
 東京都豊島区駒込3-24-3
 電話番号：03-3915-3569
 場所：3号館3階

